

## 丹沢 谷太郎川鳥屋待沢左俣報告

日時 2017 年 4 月 15 日

天気 晴れ

メンバー CL 上茂 渡邊三 大塚 樋口 小原 花島

行程 千葉出発 5:00～権現橋 9:30 出発 12m 大滝 11:20～二俣 12:25～12 メートル滝  
13:15～宝尾根詰め上がり 15:00～権現橋到着 16:45

鳥屋待沢は、大山の北に位置する三峰山という 935M ほどの山に突き上げる沢である。残雪を詰めるのは嫌なので、標高の低いエリアを選択した。厚木 IC から約 30 分という近さであるが、朝から東名道で事故渋滞に遭遇してしまい、入渓地点の権現橋に到着したのは 9 時。

支度をして 9:30 出発。沢沿いのゲートから山道を辿って堰堤上に出ると広い河原になっており、もうしばらく山道を歩き適当なところから沢に入る。平凡なゴーロ地帯をウォーミングアップモードで進む。時々魚影を確認する。

大滝 12 メートルの手前で休憩。陽ざしたつぷりで温かい。大滝は左側を登るようだが、黒光りして滑っている壁はとても登りたい気持ちにはならないという皆の意見が一致したので、左のルンゼから巻く。

滝上からはゴルジュ地形で小規模ながらもなかなか楽しめた。暑い時期ならきっと水流突破で行けそうだが、まだ勇気が出ないので突っ張りだのへつりだのして苦勞しながら通過。巻きは斜面が不安定なのでしない方がよさそう。とうとう釜に入らなければならないいい状況に陥る。高巻けない釜付きチョックストーン滝は、私らちびっこは腰上まで浸かってしまった。入ってしまえばなんてことない、かといってバンバン入れるものでもない微妙な時期だ。このエリアもヒルが多いらしいので皆暑い時期にはきたがらないようだが。逆にそんなときのほうが楽しいのではなかろうか。

二俣に到着。見るからに対照的で、右俣は立派な滝で出会うが、左俣は倒木で荒廃した涸れ沢だ。しかし予定通り左俣を詰めることにする。下山予定の宝尾根に出やすい方向であるし。出合は涸れていても水流は出てきて 2 段になっている滝は左から巻くが降り口が悪い。ほどなくマク岩、打ちっぱなしのコンクリートの壁のようだ。小ゴルジュが連続して一気に高度を稼ぐ。唯一ロープを出した 12M 滝は出だしのスタンスが微妙らしく木が立てかけてある。ホールドは確実にロープがあれば楽しく登れる。枝沢を慎重に確認しながら進んでいくと、本流は立ちはだかる壁に遮られてしまった。ここからは右岸のザレた涸れ沢を登り途中尾根に移り登るが、トラバースのところで行き詰ったので懸垂で左側の涸れ沢に降りてそのまま詰め上がり、宝尾根の 800 メートル付近に上がった。三峰山は反対方向なのでパス。宝尾根には要所にテープがあり、2, 3 か所尾根の分岐を間違えなければ時間もかからず良い下山路であった。350M の沢状地形から鳥屋待沢の堰堤上の山道を目指し下山した。尾根上の梅？樅の木？の原生林がとても立派であった。車に戻り着替えながら、ヒルに会わなくてほっとしたのもつかの間、私の靴に非常に小さい奴が潜り込んでいたのを間一髪で捕獲処分した。

帰りは別所の湯清川村ふれあいセンター（700 円）で入浴、厚木には食事処も多く、安い台湾ラーメン等を食べて高速に乗ったのが 19 時頃だったが、帰りも自爆事故渋滞があったものの割とスムーズに帰宅できた。

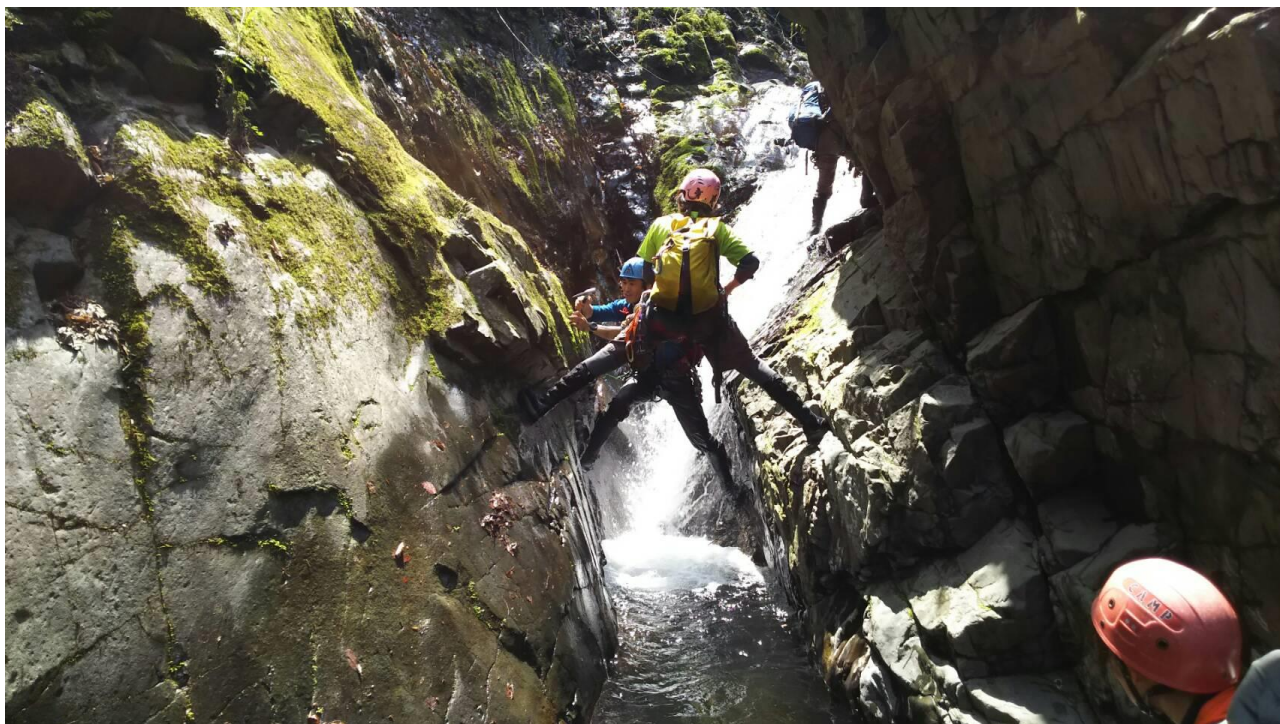


腰上まで浸かったチョックストーン滝



上から見た図





ゴルジュを突っ張りで



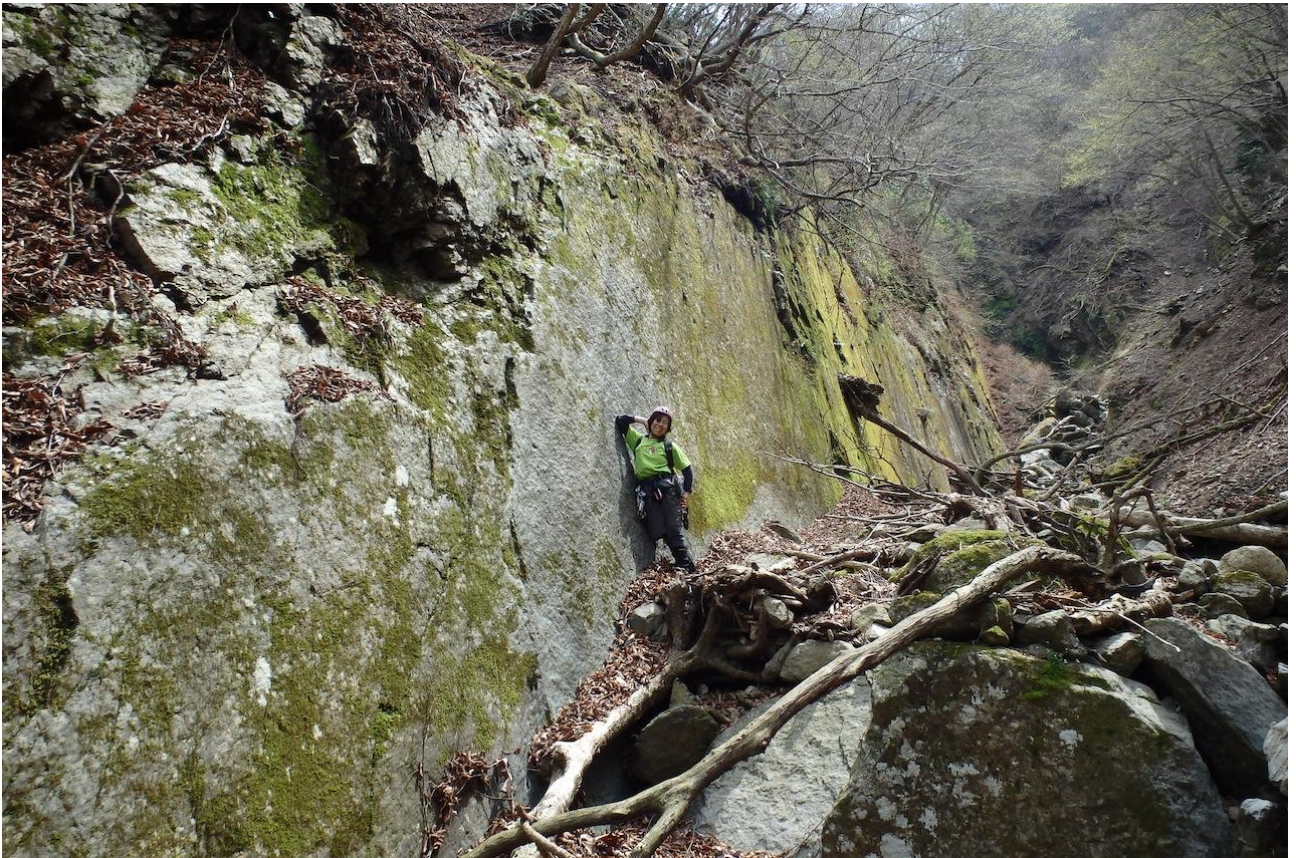
抜けた後滝を登る





二俣右股の滝  
マク岩  
宝尾根





マク岩  
宝尾根



宝尾根



